

**「JENESYS 2.0」韓国との間の招へい・派遣事業****訪問日程（派遣） 平成 25 年 11 月 28 日（木）～12 月 7 日（土）****訪問日程（招へい） 平成 26 年 2 月 20 日（木）～3 月 1 日（土）****1. プログラム概要**

「JENESYS2.0」の一環として、北海道と韓国各地の大学生延べ約 60 名が相互訪問する交流プログラムを、各 9 泊 10 日の日程で行いました。

平成 25 年 11 月の派遣事業は「韓国でクールジャパンを見つけよう」、平成 26 年 2 月の招へい事業は「日本の最北、冬の北海道でクールジャパンを再発見」のテーマのもと、両国の参加者は文化体験や企業訪問、各種レクチャー、ボランティア活動やフィールドワーク、ホームステイ等を通して、「クールジャパン」を感じ、また再発見し、同世代との交流を深めるなどしました。

**2. 日程****【派遣】****11 月 28 日(木)**

札幌発ソウル着、

**11 月 29 日(金)**

ブリーフィング、ソウル市表敬、ソウル歴史博物館見学、ソウルグローバル文化観光センター(韓国工芸品製作体験・K-POP ダンス体験)

**11 月 30 日(土)、12 月 1 日(日)**

ホームステイ

**12 月 2 日(月)**

ソウル市立大学校訪問(交流会)、市内フィールドワーク

**12 月 3 日(火)**

ソウルトック(餅)博物館訪問(韓国料理実習)、慶尚南道昌原市へ移動

**12 月 4 日(水)**

昌原大学校訪問(交流会)

**12 月 5 日(木)**

釜山広域市へ移動、釜山大学校(交流会)

**12 月 6 日(金)**

市内見学(釜山博物館、ヌリマル APEC ハウス、釜山国際映画祭会場(映画の殿堂))

**12 月 7 日(土)**

釜山発(成田経由)札幌着

**【招へい】****2 月 20 日(木)**

ソウル発(羽田経由)札幌へ

**2 月 21 日(金)**

オリエンテーション、にぎり寿司体験、北海道庁表敬、駐札幌韓国総領事館表敬

**2 月 22 日(土)**

開拓の村視察、ホームステイ

**2月23日(日)**

ホームステイ

**2月24日(月)**

北海道大学訪問、(北海道青年集合)沼田町へ移動・沼田町役場訪問(雪と共生するまちづくりに関する  
レクチャー)

**2月25日(火)**

雪冷熱利用施設視察、夕張市へ移動・夕張市役所訪問

**2月26日(水)**

除雪ボランティア体験、夕張市民との交流

**2月27日(木)**

白老町へ移動、アイヌ民族博物館訪問

**2月28日(金)**

登別温泉地獄谷視察、登別伊達時代村見学、文化体験(茶道、竹とんぼ製作など)、感想報告会

**3月1日(土)**

札幌発(羽田経由)ソウル着釜山発、

3. 写真

■派遣事業

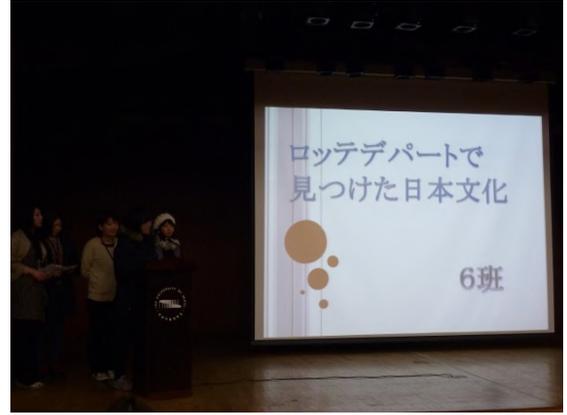
	
<p>(日本語) 11月29日(金)ソウル市表敬・ソウル市庁舎視察①</p>	<p>(日本語) 11月29日(金)ソウル市表敬・ソウル市庁舎視察②</p>
<p>(母国語) 11월 29일 (금) 서울시청사 방문①</p>	<p>(母国語) 11월 29일 (금) 서울시청사 방문②</p>
	
<p>(日本語) 11月30日(土) ホームステイ対面式①</p>	<p>(日本語) 11月30日(土) ホームステイ対面式②</p>
<p>(母国語) 11월 30일 (토) HOMESTAY 대면식 ①</p>	<p>(母国語) 11월 30일 (토) HOMESTAY 대면식 ②</p>
	
<p>(日本語) 12月2日(月)ソウル市立大学訪問①</p>	<p>(日本語) 12月2日(月)ソウル市立大学訪問②</p>
<p>(母国語) 12월 2일 (월) 서울시립대 방문 ①</p>	<p>(母国語) 12월 2일 (월) 서울시립대 방문 ②</p>



(日本語) 12月2日(月)ソウル市立大学訪問③

(母国語)

12월 2일 (월) 서울시립대 방문③



(日本語) 12月2日(月)ソウル市立大学訪問④

(母国語)

12월 2일 (월) 서울시립대 방문④



(日本語) 12月4日(水)昌原大学訪問①

(母国語)

12월 4일 (수) 창원대학교 방문①



(日本語) 12月4日(水)昌原大学訪問②

(母国語)

12월 4일 (수) 창원대학교 방문②



(日本語) 12月4日(水)昌原大学訪問③

(母国語)

12월 4일 (수) 창원대학교 방문③



(日本語) 12月5日(木)釜山大学訪問①

(母国語)

12월 5일 (목) 부산대학교 방문①

	
<p>(日本語) 12月5日(木)釜山大学訪問②</p>	<p>(日本語) 12月5日(木)釜山大学訪問③</p>
<p>(母国語) 12월 5일 (목) 부산대학교 방문②</p>	<p>(母国語) 12월 5일 (목) 부산대학교 방문③</p>
	
<p>(日本語) 12月6日(金)感想報告会①</p>	<p>(日本語) 12月6日(金)感想報告会②</p>
<p>(母国語) 12월 6일 (금) 감상보고회①</p>	<p>(母国語) 12월 6일 (금) 감상보고회②</p>

■招へい事業

	
<p>(日本語) 2月21日(金)北海道庁表敬①</p>	<p>(日本語) 2月21日(金)北海道庁表敬②</p>
<p>(母国語)</p>	<p>(母国語)</p>
<p>2월 21일 (금) HOKKAIDO 청사 방문①</p>	<p>2월 21일 (금) HOKKAIDO 청사 방문①</p>
	
<p>(日本語) 2月21日(金)韓国総領事館表敬</p>	<p>(日本語) 2月22日(土)対面式①</p>
<p>(母国語) 2월 21일 (금)</p>	<p>(母国語) 2월 22일 (토)</p>
<p>SAPPORO 한국총영사관 예방</p>	<p>HOMESTAY 대면식</p>
	
<p>(日本語) 2月24日(月)北海道大学訪問①</p>	<p>(日本語) 2月24日(月)北海道大学訪問②</p>
<p>(母国語) 2월 24일 (월)</p>	<p>(母国語) 2월 24일 (월)</p>
<p>HOKKAIDO 대학교 방문①</p>	<p>HOKKAIDO 대학교 방문②</p>



(日本語) 2月24日(月)北海道大学訪問③

(母国語) 2월 24일 (월)

HOKKAIDO 대학교 방문③



(日本語) 2月25日(火)沼田町長表敬①

(母国語) 2월 25일 (화)

NUMATA-CHO(읍) 읍장님 예방①



(日本語) 2月25日(火)沼田町長表敬②

(母国語) 2월 25일 (화)

NUMATA-CHO(읍) 읍장님 예방②



(日本語) 2月25日(火)沼田町長表敬③

(母国語) 2월 25일 (화)

NUMATA-CHO(읍) 읍장님 예방③



(日本語) 2月25日(火)夕張市長表敬①

(母国語) 2월 25일 (화)

YUBARI 시장님 예방①



(日本語) 2月25日(火)夕張市長表敬②

(母国語) 2월 25일 (화)

YUBARI 시장님 예방②

	
<p>(日本語) 2月26日(水)夕張市民交流会①</p>	<p>(日本語) 2月26日(水)夕張市民交流会②</p>
<p>(母国語) 2월 26일 (수) YUBARI 시민과의 교류①</p>	<p>(母国語) 2월 26일 (수) YUBARI 시민과의 교류②</p>
	
<p>(日本語) 2月28日(金)感想報告会①</p>	<p>(日本語) 2月28日(金)感想報告会②</p>
<p>(母国語) 2월 28일 (금) 감상보고회①</p>	<p>(母国語) 2월 28일 (금) 감상보고회②</p>

## 4. 参加者の感想

### 【派遣】

#### ◆印象的だったこと

- ・韓国人が日本のことを想像以上に知っていて(アニメ、音楽、言葉、しきたり、文学など)非常に嬉しかったと同時に、隣国である韓国のことを表面上でしか知らない自分を恥ずかしく思いました。
- ・ソウル市役所はとても現代的であり、自然を室内に取り込むなど、見たことのない建物だったので感動した。
- ・日本で韓国について思っていたことと、あまりにも違いすぎて信じられなかった。(スーパーに行くと日本製品をよく見かけ、本屋では見覚えのある漫画がずらりと並んでいる。大学でも多くの学生が日本をクールだと思っていると知った)
- ・旅行では味わえない韓国の魅力や色々なところへ行けたことが印象に残っています。

#### ○ホームステイについて

- ・韓国家庭の温かさに触れ、韓国って素晴らしい所だなあと感じた。
- ・一番良かった。やはり実際に韓国人を知るためには同じ釜の飯を食べ、そして一日中何気ないコミュニケーションが大事ということに改めて気づかされた。
- ・本当に刺激的でとても楽しい時間だった。ホームステイのお母さんは日本語が全く話せない人だったので、沢山の韓国語で会話ができてとても嬉しかったし楽しかった。学校や留学生以外の韓国人と話すのが初めてだったこともあり、忘れられない経験となった。

#### ○学生との交流に関して

- ・非常に友好的に接してくれた。日本人はどうしても初対面ではこんな態度はなかなか取れないだろうなと感じる程、私たちと積極的に友人になろうとしてくれた。

#### ○韓国・韓国人について

- ・韓国の学生はハングリー精神が強く、真剣に勉に取り組み、自己成長の為に活動していることを強く感じた。
- ・とてもフレンドリーで見知らぬ私達にも気さくに声をかけてくれた。警察官に声をかけられ、パトカーに乗せて連れて行ってくれたこともあった。
- ・とても親切でやさしい。(道を尋ねると分かるまで丁寧に教えてくれたり、その場所まで案内してくれたり、私の下手な韓国語を理解しようと、注意深く確認しながら聞いてくれたりと心温まる毎日を過ごすことができた。)
- ・人と人との距離が近いと感じた。(友人や恋人と歩いている人達の距離の近さもあるが、親しい年上の人を「お兄さん」「お姉さん」と呼ぶなど、心の距離の近さも感じた)
- ・韓国人云々ではなく、人としてすごいなと感じることが多かった。見習わなくてはと感じた。
- ・日本よりも家族や親族の繋がりが強いように感じた。部屋には家族写真が飾ってあって「家族愛」を感じたし、夕食時には気軽に親族を呼んで一緒に食事をするし、休日には家族でよくハイキングやお出かけもするので、感動した。

#### ○文化、自然について

- ・ソウルには伝統的な建物が多々あり、日本でいう京都にいるような気分になった。どんどん新しくなって

いく街でありながら、昔との共存をみごとに実現させていると感じた。

### ○その他

- ・音楽やバラエティーなどの文化面で、相互に良い関係を作るきっかけを増やしていくのが一つの方法かと思う。
- ・自国に対しても興味を持っていくことの大切さを改めて思った。自己の現状や強み、弱み、今後の展望など、私自身が日本について理解を深めることや自分の考えをしっかりと持つことで、韓国人との交流も続いていくのではないかと考えられる。
- ・今回の訪問で、韓国の学生たちのように高い志を持つべきだと気づきました。

### ◆自国の人に伝えたいこと

- ・韓国の良かった印象をありのままに伝え、行ってみたい！と思わせるような工夫を施すことが私の使命だと考えている。
- ・実際に韓国人と接して分かった素敵な韓国人の性格や人柄を多くの人に伝えていきたい。
- ・生活スタイルや食文化も似ている部分が多くあり、身近な存在であることを伝えていきたい。
- ・中高生やもっと若い学生たちに様々なことに興味を抱き、自ら動いて体験していくことで世界が広がり、様々な考えや理解に繋がることを伝えていきたい。
- ・SNSへ発信することで多くの人にジェネシスという事業のことや韓国について伝えていきたい。
- ・世界観が変わるような体験だったので、是非、研修に参加して、自らの価値観が広がる感動を味わってみてほしい。

### 【招へい】

#### ◆印象的だったこと

##### ○ホームステイに関して

- ・温かいもてなしをうけ、普通の旅行や観光では経験できない大切な思い出を作ることができた。
- ・日本の若者の考えや生活を聞き感ることができた。両国の歴史や政治としてみると少し距離を感じるが、個人個人では全くそうではなく、互いに心を通わせることができたという点が大きな感動だった。
- ・家族が韓国に対して関心が高く、沢山の話ができたのが良かった。
- ・着物や茶道体験をしたことで日本文化の美しさと伝統を感じることができた。

##### ○日本大学生との交流に関して

- ・日本人の学生と同じ部屋を使いお互いについて話し、夜遅くまで時間が過ぎるのも忘れ話をできた点で良い経験になった。
- ・毎晩、日本人の友達と沢山の話をすることができた。
- ・ホームステイや学生との交流を通して誤解していたことやよく知らなかった部分をたずねることができた。

##### ○伝統、文化に関して

- ・開拓村、アイヌ民族博物館、韓国総領事館を訪問は旅行では絶対にいけない場所なので価値のある時間だった。
- ・普段、アニメで見てきた忍者や侍についてのものを直接みることができよく理解することができた。

##### ○人間性について

- ・日本人の親切さを感じる事ができた。
- ・地下鉄に乗った時、日本人は周囲の人たちに迷惑をかけないように細かく気を使う姿を良く見かけたが、その点は学ばなければならないと思った。

#### ○その他

- ・災害に近い大雪を利用しエネルギーに変えるという発想の転換と、災害と言っても過言ではない状況を経済的に利用可能な資源と認識し、自然に優しい利用を行っていることに驚いた。
- ・日本政府、北海道庁そして札幌住民の協力で貴重な体験ができ、忘れられない思い出を作ることができた。
- ・雪を利用したエネルギーが北海道だけでなく他の雪が沢山降る地域で広く使われたら代替エネルギーとして十分に価値があると思った。
- ・雪を使ってエネルギーを生み出す技術を開発した人たちを尊敬するとともに、日本との技術交流を通して江原道など韓国でも雪が沢山降る地域で活用されたら本当に良いだろうと思った。
- ・登別の温泉が忘れることができない。
- ・国は違っても同じテーマで話しながら共通の関心事について語り合えたことが楽しかった。

#### ◆自国の人に伝えたいこと

- ・日本人の細やかな気遣いができる姿を、沢山の韓国人に直接みて感じてもらい見習うべきだと伝えたい。